インフォメーション・コーナー

会　告
○公益社団法人農業農村工学会第 49 回定時総会の報告……70
○平成 28 年度名誉会員の推挙……71
○第 25 期理事役職者の選定および会務分担について……71
○研究部会長の交代について……71
○平成 29 年度農業農村工学会賞候補の推薦について（再）　**締切　10 月 31 日**……72
○サマーセミナー 2016 参加者募集！（第 2 報）　**参加申込締切　7 月 30 日**……73
○第 40 回「水の週間」水のワークショップ・展示会について（第 2 報）　**8 月 16 日～18 日開催**……73
○「土地改良事業設計指針『耐震設計』」の発行について（再）……73
○「環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の技術指針」の発行について（再）……74
○「資格試験のための農業農村工学必携 第二版」の発行のお知らせ（再）……75
○平成 28 年度「戦略的研究申請支援」の助成希望者募集について（再）　**申請締切　9 月 16 日**……75
○「農業農村工学会学術基金」への募金のお願い……76
○学会誌掲載報文等による CPD 通信教育の参加者募集 !! ……76
○平成 29 年の学会誌表紙写真の募集　**夏季締切　9 月 30 日**……76
○「水土の知（農業農村工学会誌）」への投稿お待ちしております！……77
○国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿と
2016 年 7 月からの新たな編集体制と編集事務局のスタートについて……78
○第 67 回関東支部大会（講演会・講習会等）の開催について（第 2 報）Ⓑ　**講演申込締切 7 月 29 日**……79
○第 71 回中国四国支部講演会ならびに第 40 回地方講習会の開催について（第 3 報）Ⓑ
講演原稿・参加申込締切　9 月 9 日……80
○平成 28 年度九州沖縄支部大会（第 97 回講演会・講習会・シンポジウム・現地見学会）
の開催について（第 2 報）Ⓑ　**投稿締切　8 月 24 日**……81
○農村計画研究部会第 38 回現地研修集会の開催について（第 2 報）Ⓑ　**参加申込締切　7 月 31 日**……83
○材料施工研究部会災害復旧事業の現場見学会の開催についてⒷ　**参加申込締切　8 月 10 日**……84
農業農村工学会論文集内容紹介……85
農業農村工学会技術者継続教育機構認定プログラム（一般参加可）一覧……86
受入れ図書……87
文献目録……87
学会記事……89

第 84 巻第 8 号予定
展望：人口減少時代の農業と土地改良技術：岩村和平
小特集：省力的で安全な農作業技術の最前線と基盤整備の挑戦
▷報文：基盤構造に着目した農作業事故の発生要因に関する考察：田村孝浩ほか
▷報文：農業機械事故の要因と基盤構造の関係：積　栄ほか
▷報文：等高線区画整備による農作業効率および安全性の確保：佐藤太郎ほか
▷報文：農作業の自動化技術の現状と基盤整備への期待：長坂善禎ほか
▷報文：法面作業道をつくって草刈り作業をラクに：三谷誠次郎ほか
▷報文：農家減少による規模拡大条件での安全な農業を支える基盤整備：北川　巌ほか
技術リポート
北海道支部：旧排水機場基礎杭の撤去工法：相澤孝汰ほか
東北支部：穴堰の歴史と事業概要：中田直樹ほか
関東支部：果樹園地の圃場整備：福田克也
京都支部：河川共用区間における農業用水路の設計について：高阪快児ほか
中国四国支部：石神池におけるため池耐震化整備について：石川正幸ほか
九州沖縄支部：ため池管理体制の現状と課題：下田知直

農業農村工学会行事の計画

農業農村工学会行事について，下表のように計画しています。ふるって参加下さるよう，お待ちいたしております。
Ⓑのマークは，技術者継続教育機構の認定プログラムとして認定されたもの，および認定申請中のものを表しています。

開催日	主催	行事名	テーマ	開催場所	掲載号
平成28年8月16～18日	農業用水展示実行委員会	第40回「水の週間」水のワークショップ・展示会	田んぼの水はどこから来るの？何をしてるの？―農業用水のさまざまなはたらき―	東京都	84巻7号
平成28年8月29日	農村計画研究部会	第38回現地研修集会 Ⓑ	水田大規模経営と農村の未来	西磐井郡平泉町ほか	84巻6,7号
平成28年8月30日～9月2日	大会運営委員会	平成28年度農業農村工学会大会講演会 Ⓑ	——	仙台市	83巻12号 84巻1,4号
平成28年9月1日	材料施工研究部会	災害復旧事業の現場見学会 Ⓑ	東日本大震災における農業水利施設の復旧の現状と材料施工分野の役割	浪江町 相馬市	84巻7号
平成28年9月1～3日	サマーセミナー2016実行委員会	サマーセミナー2016	農業,農業工学の現状･課題･将来についての意識の共有	仙台市	84巻5,7号
平成28年10月20，21日	九州沖縄支部	平成28年度支部大会 Ⓑ	——	鹿児島市	84巻4,7号
平成28年10月27，28日	中国四国支部	第71回支部講演会・第40回地方講習会 Ⓑ	——	松山市	84巻5,6,7号
平成28年11月9日	関東支部	第67回支部大会 Ⓑ	——	長野市	84巻6,7号
平成28年11月16，17日	京都支部	第73回研究発表会 Ⓑ	——	大阪市	84巻4,6号

公益社団法人農業農村工学会第49回定時総会の報告

1．日　時　平成28年5月30日（月）　14：30～15：15

2．場　所　農業土木会館2階A会議室

3．代議員現在数及び定足数　現在数111名　定足数56名

4．出席代議員数　93名（内，出席8名，書面により議決権を行使した代議員48名，委任状により議決権を代理行使した代議員37名）

5．定足数の確認等

総務部長が，定款第21条に基づき定足数の充足による本定時総会の成立を確認した。

6．出席役員

渡邉紹裕会長，林田直樹副会長，
小前隆美専務理事，長利　洋監事

7．議長の選出

渡邉会長が仮議長となり，山本徳司代議員を全員一致で議長に選出した。

8．議事録署名人の選出

議長が議事録署名人2名の選出について諮ったところ，湯浅眞介，水見　洋の両代議員を全員一致で選出した。

9．議　事

決議事項

(1)　議案―1　平成27年度事業報告

専務理事から同議案について説明があり，事業計画に掲げた事項が遂行された実績を確認し，審議の結果，提示案どおり，全員一致で可決した。

(2)　議案―2　平成27年度決算

専務理事から同議案について，財務諸表をもとに公1調査研究等事業会計，公2技術推進事業会計及び法人会計の説明があった。この際，長利　洋監事から平成27年度事業報告及び決算についてその内容を監査した結果，適正正確であるとの報告があった。審議の結果，提示案どおり，全員一致で可決した。

(3)　議案―3　名誉会員の推挙

専務理事から同議案について，24名の方の名誉会員推挙の説明があった。

審議の結果，提示案どおり，全員一致で可決した。

(4)　議案―4　役員の選任

第24期役員の任期満了に伴い，第25期役員候補一人一人についてを次のとおり選任した。

理　事　20名

石井　敦，石井龍太郎，井上　京，内山芳彦
大久保憲一，久保成隆，小泉　健，佐々木清貴
長　裕幸，辻　修，長﨑泰樹，中田摂子
西村伸一，西村　拓，林田直樹，広田純一
村上　章，森井俊広，山路永司，山本徳司

監　事　2名

荻野寿一，森　丈久

報告事項

(1)　報告事項―1　平成28年度事業計画について

専務理事から平成28年度事業計画について説明があった。

(2)　報告事項―2　平成28年度予算について
専務理事から平成28年度予算について説明があった。

議長は，以上をもって議案の審議等を終了したので，15時15分議事の終了を宣言した。

平成28年度名誉会員の推挙

「農業農村工学会名誉会員の推薦に関する内規」に則って第240回理事会で推薦された次の24名の正会員（敬称略）の皆様が第49回定時総会の決議により名誉会員に推挙されました。

これにより名誉会員の現在数は，270名となりました。

天谷孝夫，有吉　潔，岩崎和巳，神谷光彦，木村和弘，河野英一，小波藏政良，佐藤義信，島田俊介，田井敏恭，田仲喜一郎，田中義幸，千葉　毅，堤　聰，中川吉弘，中島治郎，中田俊樹，橋本　正，福田光博，藤根与兵衛，牧　勝史，森　健，森田昌史，山本義宏

第25期理事役職者の選定および会務分担について

平成28年5月30日開催の第242回理事会において，理事の中から定款第27条第2項の規定に基づき会長，副会長，専務理事を選定した。

また，第25期理事の会務分担および常置委員会委員長等を次のように決定した。

記

1．会長等

会　　長　久保成隆
副 会 長　林田直樹
副 会 長　森井俊広
副 会 長　大久保憲一
専務理事　小泉　健

2．理事の担当部門

〔担当部門〕	〔総括する副会長〕	〔担当理事〕
企画・運営業務	林田直樹	山本徳司，石井龍太郎 井上　京，佐々木清貴 中田摂子，西村　拓
学会誌等定期刊行活動	森井俊広	井上　京，石井　敦 佐々木清貴，西村　拓 辻　　修，広田純一 山路永司，村上　章 西村伸一，長　裕幸
講演会等行事活動	大久保憲一	内山芳彦，石井龍太郎 中田摂子，長﨑泰樹 山本徳司
調査・研究活動	森井俊広	石井　敦，中田摂子 西村　拓，山本徳司
編集・出版活動	大久保憲一	佐々木清貴，石井　敦 内山芳彦，中田摂子
国際活動	林田直樹	山路永司，井上　京 長﨑泰樹，西村　拓
技術者教育活動	森井俊広	長﨑泰樹，石井　敦 石井龍太郎，内山芳彦 井上　京，佐々木清貴 山本徳司
支部業務	林田直樹	森井俊広，大久保憲一 辻　　修，広田純一 山路永司，村上　章 西村伸一，長　裕幸

3．第25期常置委員会委員長等

企画委員会	山本徳司
広報委員会	中田摂子
定期刊行物委員会	森井俊広
学会誌企画・編集委員会	井上　京
論文集企画・編集委員会	西村　拓
研究委員会	石井　敦
出版企画委員会	佐々木清貴
行事企画委員会	大久保憲一
学術基金運営委員会	林田直樹
国際委員会	山路永司
学会賞選考委員会	森井俊広
上野賞選考委員会	石井　敦
スチューデント委員会担当	西村　拓
JABEE担当	森井俊広

研究部会長の交代について

下記のとおり研究部会長が交代しました。

記

畑地整備研究部会（平成28年4月1日付）
新部会長　原口　智和（佐賀大学農学部）
前部会長　猪迫　耕二

農地保全研究部会（平成28年4月1日付）
新部会長　佐藤泰一郎（高知大学教育研究部）

前部会長　河野　英一

農村道路研究部会（平成28年5月1日付）
新部会長　服部　俊宏（明治大学農学部）
前部会長　竹内　　康

応用水理研究部会（平成28年6月1日付）
新部会長　平松　　研（岐阜大学応用生物科学部）
前部会長　樽屋　啓之

平成29年度農業農村工学会賞候補の推薦について（再）

平成29年度の農業農村工学会賞（上野賞，沢田賞を除く）を，募集要項に則って，推薦書によりご推薦下さい。

締切は，平成28年10月末日です。推薦書様式および授賞規程は学会ホームページをご参照下さい。

平成29年度　農業農村工学会賞　募集要項

賞の種別	学術賞	奨励賞		優秀賞			
		研究奨励賞	技術奨励賞	優秀論文賞	優秀報文賞	優秀技術賞	優秀技術リポート賞
賞の趣旨	農業農村工学に関する学術または技術の進歩に貢献した創意ある優秀な業績	農業農村工学に関する学術または技術の進歩に寄与すると認められる優秀な業績		農業農村工学に関する学術または技術についての優秀な業績			
		農業農村工学に関する研究業績	農業農村工学に関する計画，設計，施工，管理等の技術業績	農業農村工学に関する単独の論文業績	農業農村工学に関する単独の報文業績	農業農村工学に関する計画，設計，施工，管理等の単独の技術業績	農業農村工学に関する単独の技術リポート業績
賞の対象期間	平成23年10月から平成28年9月までに発表されたものとする。ただし，その5カ年以内に発表したものと同一の課題については，それ以前に発表されたものも，一連の業績とすることができる。	平成25年10月から平成28年9月までに発表されたものとする。ただし，その3カ年以内に発表したものと同一の課題については，それ以前に発表されたものも，一連の業績とすることができる。	平成25年10月から平成28年9月までに発表されたものとする。ただし，その3カ年以内に発表したものと同一の課題については，それ以前に発表されたものも，一連の業績とすることができる。	平成27年10月から平成28年9月までに発表されたものとする。	平成27年10月から平成28年9月までに発表されたものとする。	平成26年10月から平成28年9月までに発表されたものとする。	平成23年10月から平成28年9月までに発表されたものとする。
賞の対象業績	原則として本学会の刊行物に発表された論文，報文等とする。			原則として本学会の刊行物に発表された論文とする。	原則として本学会の刊行物に発表された報文とする。	原則として本学会の刊行物に発表された論文，報文等とする。主として現場調査資料，現場技術報告書とする。	原則として本学会の刊行物に発表された技術リポートとする。
受賞候補者	個人					個人または組織，団体	個人
推薦の方法	正会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を1部提出する（いずれも返却しない）。			正会員の自薦，他薦または学会誌・論文集の企画・編集委員会の推薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を1部提出する（いずれも返却しない）。			

賞の種別	著作賞	教育賞	環境賞	歴史・文化賞	地域貢献賞	国際貢献賞	メディア賞	功労賞
賞の趣旨	原則として一般に市販されている図書の中で，農業農村工学に関する学術または技術を広く世に紹介することに顕著な貢献をなしたと認められる業績	農業農村工学教育，技術者の継続教育など資質の向上に寄与したと認められる活動で優れた業績	農業・農村の生産・生活環境の改善や生態系保全など，美しい環境の保全や創出において優れた計画および施工を行い，もしくは管理・保全活動を行った業績	農業農村工学に関する歴史・文化を広く紹介，あるいは研究分析した業績	農村地域社会の発展・活性化に貢献した業績	農業農村工学に関する学術・技術についての，国際的な交流・調査研究で優れた業績	農業農村工学を紹介したパンフレット，ビデオ作品，教材スライド，映画等	長年にわたる，地道な教育・研究または実務の積み重ねを通じて，農業農村工学の学術または技術の進歩発展に多大な功労のあったと認められる者
賞の対象期間	平成18年10月から平成28年9月までに発表されたものとする。	平成18年10月から平成28年9月までに発表されたものとする。	平成26年10月から平成28年9月までに発表されたものとする。	平成23年10月から平成28年9月までに発表されたものとする。	平成23年10月から平成28年9月までに発表されたものとする。	平成23年10月から平成28年9月までに発表されたものとする。	平成26年10月から平成28年9月までに発表されたものとする。	
賞の対象業績	一般の図書。ただし，ハンドブック・便覧の類の著書および翻訳書は対象としない。また，改訂版にあたっては全面改訂したもののみを対象とする。		本学会の刊行物または，関係する図書に発表されたもの。また，完工した建設物，維持保全管理活動等も対象とする。				農業農村工学に関連した作品を対象とする。	平成28年度末に65歳以上に達している個人
受賞候補者	著者	個人または組織・団体				個人	個人または組織・団体	個人
推薦の方法	正会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を1部提出する（いずれも返却しない）。	正会員の自薦，他薦または技術者継続教育機構CPD運営委員会の推薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を1部提出する（いずれも返却しない）。	正会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を1部提出する（いずれも返却しない）。			正会員の自薦，他薦または国際委員会の推薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を1部提出する（いずれも返却しない）。	正会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を1部提出する（いずれも返却しない）。	正会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。
選考の方法	学会賞選考委員会において行う							
賞の決定	理事会において行う							
表彰	農業農村工学会大会講演会において会長が授与する							
推薦締切	平成28年10月末日							
推薦書の提出先	〒105-0004　東京都港区新橋5-34-4　公益社団法人　農業農村工学会　学会賞選考委員会宛							

サマーセミナー 2016 参加者募集（第 2 報）

サマーセミナーは農業農村工学を学ぶ学生・若手研究者を対象とした院生の自主計画セミナーです。2013 年以来の 3 年ぶり，17 回目の開催となる今年は，学生間の交流をふたたび活性化させることを目標に，「農業，農業工学の現状・課題・将来についての意識の共有」というテーマを設定しました。東日本大震災から 5 年が経過した被災地仙台で農業農村工学や復興農学の未来についてさまざまな立場，専攻，地域の学生が一堂に会し，議論する場を一緒に作り上げていきませんか？　他大学の学生と触れあったり議論をしたりしてみたい方，将来のキャリアを見据え人脈を広げたいという方，あるいは今後の進路について悩んでいるという方も，どんな方でも大歓迎です。同じ農業農村工学を学ぶものとして，今私たちが取り組むべき問題を一緒に考えていきましょう！

1．主　催

農業農村工学会サマーセミナー 2016 実行委員会

小杉重順（北海道大学大学院農学院）
宮井克弥（宮城大学大学院食産業学研究科）
樋口慶亮（東京農工大学大学院連合農学研究科）
辰野宇大（東京大学大学院農学生命科学研究科）
田中宣多（京都大学大学院農学研究科）
今出和成（岡山大学大学院環境生命科学研究科）

2．日　時　平成 28 年 9 月 1 日（木）の講演会終了後の夕方から 3 日（土）まで

3．場　所　エスポールみやぎ（http://www.seinenkaikan.or.jp/）

4．対　象　学部学生・院生・若手研究者

5．参加費用（予定）　12,000 円程度（宿泊，飲食代込）
＋3,000 円（現地見学会）

6．企画内容

現地研修会：学会企画の現地研修会（9 月 2 日）に参加

グループディスカッション：サブテーマ「農業農村工学」・「復興農学」・「大学・大学院生の役割」の 3 つを設け，少人数のグループでのディスカッションや全体討論を通し，参加者間の意識の共通化を図る。

詳細はホームページで公開。

サマーセミナー 2016 ホームページ：
http://ss2016.wp.xdomain.jp/

7．参加申込み

詳細・参加申込みについてはサマーセミナー 2016 ホームページで。

申込期限：平成 28 年 7 月 30 日（土）

8．問合せ先

Email：summerseminar2016@gmail.com

第 40 回「水の週間」水のワークショップ・展示会について（第 2 報）

「水のワークショップ・展示会」は例年同様「水の週間」のイベントの一つとして行われます。

今年も昨年までと同様に，農業農村工学会が農業用水展示実行委員会を組織し，関係団体の協力を得て，農業用水分野として展示の準備を進めてきました。昨年と同様に東京国際フォーラムで開催される丸の内キッズジャンボリーのイベントの一つとして出展します。

多くの方のご来場をお待ちしております。

記

1．会　期　平成 28 年 8 月 16 日（火）～18 日（木）
10：00～17：00

2．場　所　東京国際フォーラム G 棟 701

3．主　催　国土交通省，東京都，水の週間実行委員会

4．全体テーマ　健全な水循環により，水の恵みを享受できる社会を目指して（仮）

5．農業用水テーマ　田んぼの水はどこから来るの？何をしてるの？
―農業用水のさまざまなはたらき―

6．展示内容　学生によるワークショップ，iPad アプリによるゲーム，パネル展示，生き物の水槽など

「土地改良事業設計指針『耐震設計』」の発行について（再）

この度，「土地改良事業設計指針『耐震設計』」が平成 28 年 5 月に発行されました。

＜主要改定事項＞

「設計指針『耐震設計』」の改定に当たっては，「耐震設計の手引き」を基として，以下の観点から整理・検討を行った。

① レベル 2 地震動を含む耐震設計に関する一般的事項について解説

1）基本的な考え方
耐震設計に用いる地震動，施設の重要度区分と保持すべき耐震性能等

2）調査内容

既存資料による調査，一般的な土質調査，土の動的物性調査，地盤の動力学的性質の調査等

3） 設計条件

地域別補正係数，地盤種別，固有周期，耐震設計上の基盤面，荷重等

4） 耐震計算法の種類

震度法，地震時保有水平耐力法，応答変位法等

5） 耐震診断の方法

耐震診断の方法，整備方法等

なお，施設ごとの設計手順等については，施設別の設計基準・指針に記載済みであるため記載しない。

② 各施設で適用すべき基本条件（設計水平震度，耐震計算法等）について，横断的に一覧で比較できるように整理

③ 耐震対策の事例や平行して検討している「設計指針『ため池整備』」の改定内容等，最近の知見について反映

購入希望の方は，下記要領にてお申し込み下さい。

1． 発行書籍

書籍名：土地改良事業設計指針「耐震設計」
監　修：農林水産省農村振興局整備部
発　行：（公社）農業農村工学会
価　格：2,600円（消費税8%込，送料学会負担）
規　格：A4判　301ページ
改定年月：平成27年5月

2． 申込方法

Ⅰ．個人，法人の場合（賛助会員を除く）

①郵便振替：郵便局の払込取扱票の通信欄に書籍名，冊数，送付先，担当者名，連絡先をご記入下さい。
振替口座番号：00160-8-47993
加入者：公益社団法人 農業農村工学会

②現金書留：書籍名，冊数，送付先，担当者名，連絡先を書いた注文書をご同封下さい。

③代金引換：書籍名，冊数，送付先，担当者名，連絡先を記載した注文書に「代引希望」と書き添えてE-mailまたはFAXでお送り下さい。別途，代引手数料が必要です。

Ⅱ．官公庁の公費購入および賛助会員の場合

書籍名，冊数，送付先，担当者名，連絡先を書いた注文書をE-mailまたはFAXでお送り下さい。

3． 申込先

〒105-0004　東京都港区新橋5-34-4
（公社）農業農村工学会事務局　図書係
TEL：03-3436-3418　FAX：03-3435-8494
E-mail：suido@jsidre.or.jp

「環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の技術指針」の発行について（再）

この度，「環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の技術指針」が平成28年4月に発行されました。

＜技術指針の目的と活用より抜粋＞

本技術指針では，水田や用排水路等に生息する魚類など農村地域の生物を保全するため，生物のネットワークの重要性について整理するとともに，連続性や一体性を持たせるための方策を示すものである。これまで「環境配慮の手引き」によって取りまとめた調査から維持管理に至る各段階の環境配慮の考え方や新たな技術的知見等を踏まえ，水路整備やほ場整備等について工種横断的に環境配慮の考え方を整理しつつ，環境配慮の手法や工法をより具体化するものである。

また，近年，増加している地域づくりの取組は，地域の活性化や環境配慮施設の維持管理の面からも有効であることから，調査・計画（第4章），設計・施工（第5章），維持管理・モニタリング（第6章）において，地域づくりに関する内容の充実を図るとともに，地域づくりの進め方や合意形成手法に関する基本的な考え方，参考事例を取りまとめ，参考資料として掲載することとした。

購入希望の方は，下記要領にてお申し込み下さい。

1． 発行書籍

書籍名：環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の技術指針
監　修：農林水産省農村振興局整備部
発　行：（公社）農業農村工学会
価　格：2,600円（消費税8%込，送料学会負担）
規　格：A4判　152ページ
改定年月：平成27年5月

2． 申込方法

Ⅰ．個人，法人の場合（賛助会員を除く）

①郵便振替：郵便局の払込取扱票の通信欄に書籍名，冊数，送付先，担当者名，連絡先をご記入下さい。
振替口座番号：00160-8-47993
加入者：公益社団法人 農業農村工学会

②現金書留：書籍名，冊数，送付先，担当者名，連絡先を書いた注文書をご同封下さい。

③代金引換：書籍名，冊数，送付先，担当者名，連絡先を記載した注文書に「代引希望」と書き添えてE-mailまたはFAXでお送り下さい。別途，代引手数料が必要です。

Ⅱ．官公庁の公費購入および賛助会員の場合

書籍名，冊数，送付先，担当者名，連絡先を書いた注文書をE-mailまたはFAXでお送り下さい。

3．申込先

〒105-0004　東京都港区新橋 5-34-4
（公社）農業農村工学会事務局　図書係
TEL：03-3436-3418　FAX：03-3435-8494
E-mail：suido@jsidre.or.jp

「資格試験のための農業農村工学必携 第二版」発行のお知らせ（再）

この度，「資格試験のための農業農村工学必携 第二版」を発行することとなりましたので，お知らせいたします。

初版の「資格試験のための農業農村工学必携」は，「改訂七版 農業農村工学ハンドブック（平成 22 年発行）」をコンパクトに再編集したもので，資格試験に挑戦する人にとっては農業農村工学の全容を短時間で確認するテキストとして，また，農業農村工学を学ぶ学生にとっては教科書として利用できるものとして発行されました。

今回の第二版は，初版で要所に挿入されていた「確認テスト」を最近の資格試験問題の動向に合わせて増補更新し，「テキスト」と「問題集」の分冊形式としています。是非ともご購入の上，お役立て下さい。

1．発行書籍

書籍名：資格試験のための農業農村工学必携 第二版
編　者：公益社団法人 農業農村工学会
発行年月：平成 28 年 5 月
体　裁：B 5 判　約 520 ページ
価　格：定価 2,777 円（税込・送料学会負担）
※会員価格の設定はありません。

2．購入方法

I．個人，法人の場合（賛助会員を除く）

①郵便振替：郵便局の払込取扱票の通信欄に書籍名，冊数，送付先，担当者名，連絡先をご記入下さい。
振替口座番号：00160-8-47993
加入者：公益社団法人 農業農村工学会

②現金書留：書籍名，冊数，送付先，担当者名，連絡先を書いた注文書をご同封下さい。

③代金引換：書籍名，冊数，送付先，担当者名，連絡先を記載した注文書に「代引希望」と書き添えて E-mail または FAX でお送り下さい。別途，代引手数料が必要です。

II．官公庁の公費購入および賛助会員の場合

書籍名，冊数，送付先，担当者名，連絡先を書いた注文書を E-mail または FAX でお送り下さい。

3．申込先

〒105-0004　東京都港区新橋 5-34-4
（公社）農業農村工学会事務局　図書係
TEL：03-3436-3418　FAX：03-3435-8494
E-mail：suido@jsidre.or.jp

平成 28 年度「戦略的研究申請支援」の助成希望者募集について（再）

農業農村工学分野における戦略的研究の推進を目的とし，下記取扱い内規によって，競争的研究資金獲得をめざす研究申請書作成グループに助成を行います。助成総額は，60 万円程度（原則 1 件 20 万円以内）です。

本年度の申請締切は**平成 28 年 9 月 16 日（金）**です。助成金を希望される方は期限までに，必要事項を記入した申請様式（末尾参照）で研究委員会戦略的研究推進小委員会委員長あてにお申し込み下さい。

試験研究機関，行政，大学，民間等からの応募を歓迎いたします。

「戦略的研究申請支援」の助成金取扱い内規

1．申請：学会員は所定の申請用紙に必要事項を記入の上，「戦略的研究申請支援」の助成金の申請ができる。なお，申請者の資格は，後述の「4.助成対象」に示すとおりとする。

2．認定：研究委員会戦略的研究推進小委員会は，「研究申請書作成グループ」の申請内容（申請の意義，準備の状況，将来の展望など）を検討して，助成するグループと金額を決定する。なお，この決定内容は学会長に報告する。

3．助成：研究委員会戦略的研究推進小委員会は認定した「研究申請書作成グループ」に対し，「研究連絡費」を助成する。ただし，その助成は原則として 1 年とする。可否の認定に当たっては，科学研究費補助金以外の競争的資金に応募を予定しているグループを優先する。

4．助成対象：申請できる条件（助成対象）は次のとおりとする。

（イ）具体的な研究テーマをもち，それを研究することが戦略的な意味で農業農村工学の意義と役割を対外的に示すことに貢献しうること。

（ロ）「研究申請書作成グループ」には代表者（本学会員）をおき，構成員（本学会員以外も可）は原則として 3 名以上，それらの所属する機関が 2 つ以上あること。

5. 活動報告：助成金を受領した「研究申請書作成グループ」は，助成金受領後1年以内に活動報告として，作成した申請書とその提出および審査の経過を，戦略的研究推進小委員会に提出すること。提出された活動報告は戦略的研究推進小委員会のデータベースに登録され，必要に応じて学会の研究申請支援活動に役立てられる。

「戦略的研究申請支援」の助成金申請様式

締切：平成28年9月16日（金）

申込先：研究委員会戦略的研究推進小委員会委員長あて
E-mail：tkiku@jsidre.or.jp

必要記載事項：

(1) WG名（または部会名） (2) 代表者名・所属
(3) 参画者名・所属 (4) 研究テーマ名（仮）
(5) 研究の目的と内容（500字程度）
(6) 研究資金申請応募先（予定）

「農業農村工学会学術基金」への募金のお願い

農業農村工学会は，農業農村工学の学術・技術の発展を通じて，わが国農業の近代化に大きく貢献できたものと自負しています。しかし，昨今の日本農業はかつてない厳しい環境におかれ，農業農村工学の役割も従来に増して一層重要なものとなり，東南アジアをはじめとして全世界的な展開が望まれる状況になっています。

そのためには，若い世代の育成，新たな技術の開発や国際交流の進展が図られなければなりません。学会は，これら諸活動に資するものとして，平成3年4月に学術基金を創設し，これに上野賞基金や冨士岡研究奨励基金を統合し，さらに法人・個人有志からの拠出金等をもってこの基金に充てることとしております。

つきましては，会員各位からの多くのご支援をいただきたく，お願い申し上げます。

なお，この学術基金は今後，学生会員のインターンシップの助成にも対象を拡げる予定です。

個人会員一口 5,000円（何口でも可）

法人会員一口 50,000円（何口でも可）

送金方法 銀行振込および郵便振替でお願いいたします。

銀行：みずほ銀行新橋支店
普通預金 No.1569058
口座名 （社）農業農村工学会学術基金

郵便振替：00140-2-54031
加入者名 農業農村工学会学術基金

学会誌掲載報文等によるCPD通信教育の参加者募集!!

農業農村工学会では，学会員であり，かつ技術者継続教育機構のCPD個人登録者の方がCPD単位を在宅のまま取得できる方法として，平成17年10月号より農業農村工学会誌「水土の知」誌上で「CPD通信教育」を実施しています。学会員であり，かつCPD個人登録者は，どなたでも無料で参加することができ，通信教育分【ac】として年間最大24 cpdを取得する大きなチャンスとなっています。この機会に，是非CPD通信教育へご参加下さい。

なお，解答内容については技術者倫理に則り，自らの責任で送信して下さい。

1. 参加資格

農業農村工学会の個人会員であり，かつ技術者継続教育機構のCPD個人登録者

2. 出題内容と出題方法

3カ月前に発行された農業農村工学会誌に掲載された報文等の事実的内容から，択一式で毎月10問を出題

3. 解答方法

Web画面に正解と思う番号を入力し，送信（事前にWeb利用登録が必要）

4. 解答期限

問題掲載号の月から翌月末日まで
（例：学会誌7月号掲載の問題は8月末日が解答期限）

5. 取得できるCPD単位

10問正解で2 cpdを，7～9問正解で1.5 cpdを自動登録
（正解数6問以下の場合はCPD単位の付与はされません。）

6. 自動登録の時期

取得したCPD単位は，解答期限最終日の翌月初旬に自動登録されます。

平成29年の学会誌表紙写真の募集

学会誌企画・編集委員会では，平成29年発行の学会誌も引き続いて皆さまからの写真で表紙を飾ることとします。趣旨をご覧のうえ，ご応募下さい。

趣 旨

わが国において，土や水を取り扱う技術の歴史は農業とともに発展してきました。農業の発展の過程で造られてきた幾多の農業施設は，農地を形成し，水を送り，物と人をつなぎ，連綿と我々の生活を支えてきました。これらの農業施設のいくつか

は，長年の風雨にさらされながらも，機能を保ち続け，その地域の自然や文化に溶け込み，農村の景観を形成する重要な構成要素となっているものもあります。人々の悲願をかなえ続けてきたこれらの農業施設や構造物は，地域の人々によって大切に守り，管理された結果，四季折々に機能美と景観美を放ち続けているはずです。それらは，農村地域のみならず，都市の景観の中にも見つけることができるでしょう。

農業農村の現場で活躍される皆さま，日ごろ何気なく見過ごしているかもしれない農村地域における農業施設・構造物とそれを含む景観の美しさを再評価いただいて，忙しい業務の合間にも，足を止め，手を休めて写真として記録していただき，広く一般の方々にご紹介下さい。

記

1．テーマ

「農村地域における農業施設・構造物：先人たちの技術と苦労が垣間見える造形美」

2．対象巻号　学会誌第85巻（平成29年1～12月号）

3．写真の種類

応募写真はデジタル，フィルムを問わず六つ切り以上四つ切り以下のサイズにプリントしたものとします。(四つ切りワイド，A4サイズも含みます)。なお，六つ切りは203×254 mm，四つ切りは254×305 mm，同ワイドは254×356 mm，A4は210×297 mmです。カラー，モノクロは問いません。採用となった写真についてはデジタル写真の場合に限って画像データを送っていただきます。この場合の画像データ量は一点につき20MB以下とし，形式はJPEGのみに限定します。

4．枚　数

応募写真に制限はありませんが，未発表のものに限ります。

5．締　切　夏季　平成28年9月30日

※応募時，過去1年以内に撮影したものに限ります。

6．審　査　審査委員会（編集委員と写真家）で選考します。

7．結果発表

学会誌第85巻第1号で採用作品と掲載号を発表し，採用作品は平成29年度全国大会会場でパネル展示します。

8．謝　礼

採用作品には規定の賞金（1点につき3万円）をお支払いします。また，すべての応募作品が不採用となった応募者には記念品をお送りします。

9．「Cover History（表紙写真由来）」について

採用作品の応募者には学会誌掲載の「Cover History（表紙写真由来）」をご執筆いただきます。ご執筆の詳細は，採用決定時に応募者に直接お知らせします。なお，些少ですが原稿料をお支払いします。

10．使用権・出版権

採用作品の使用権および出版権は（公社）農業農村工学会に属します。

11．注意点

審査は上記の趣旨を十分理解されている写真であるか，表紙写真の質として耐えうるかということを重視します。具体的には，農業施設・構造物の形状や機能が，その写真から十分に読みとれること（花などの情緒物に埋没しないこと）が採用の条件となります。

12．応募方法および応募先

学会ホームページより，応募票をダウンロードし，タイトル，郵便番号，住所，氏名，勤務先，電話番号，E-mailアドレス，写真のテーマ，撮影場所，撮影年月日，対象物の固有名称（固有名詞），対象物をめぐる歴史的背景等の説明を記入し，応募写真の裏面に貼付してお送り下さい。

なお，原則として，応募写真は返却いたしません。

〒105-0004　東京都港区新橋5-34-4
（公社）農業農村工学会
農業農村工学会誌企画・編集委員会「表紙写真公募」係
TEL：03-3436-3418　FAX：03-3435-8494
E-mail：henshu@jsidre.or.jp

「水土の知（農業農村工学会誌）」への投稿お待ちしております！

自主投稿原稿の募集

小特集以外の自主投稿も歓迎いたします。投稿の際には，農業農村工学会ホームページに掲載の「農業農村工学会誌投稿要項」，「農業農村工学会誌原稿執筆の手引き」を熟読の上，ご投稿下さい。

学会誌84巻の小特集のテーマ

小特集テーマ			要旨締切（A4判1,500字以内）
84巻	8号	省力的で安全な農作業技術の最前線と基盤整備の挑戦（仮）	公募終了
	9号	圃場モニタリングのためのリモートセンシング技術の最前線（仮）	公募終了
	10号	電気料金の変動を見据えた土地改良（仮）	公募終了
	11号	都市農業の価値を活かす農業農村整備の多様なアプローチ（仮）	7月15日

今後取り上げてほしい小特集のテーマについても，広く募集しておりますので，学会誌企画・編集委員会あてにお寄せ下さい。なお，小特集テーマが仮題となっているものは，予告なく変更することがございます。

採用された原稿の分量は，**刷上り4ページ**となっておりますので，ご執筆の際には**厳守**いただきますよう，お願いいたします。

送付先　〒105-0004　東京都港区新橋5-34-4
（公社）農業農村工学会
農業農村工学会誌企画・編集委員会あて
TEL：03-3436-3418　FAX：03-3435-8494
E-mail：henshu@jsidre.or.jp

84巻11号テーマ「都市農業の価値を活かす農業農村整備の多様なアプローチ」（仮）

わが国の都市農業は，都市農業者や関係者の努力により，農産物の供給に加えて，防災，景観形成，環境保全，あるいは農業体験・学習の場の提供といった多様な機能を発揮しており，都市農業に対する評価が高まっています。

このような中，平成27年4月に，「都市農業振興基本法」が制定されました。都市農業の安定的な継続を図り，多様な機能を適切かつ十分に発揮させることにより，良好な都市環境の形成に資することを目的としています。都市住民から顔が見えるところで都市農業が営まれることは，厳しい状況にある農業・農村そのものへの理解を深めることにつながり，さらには都市農地が“あるべきもの”としてあることにより，環境共生型の都市を形成する上で重要な役割を果たしていくと期待されています。

本小特集では，このような政策転換を受けて検討されつつある基本計画などの施策事例，都市農地の保全や防災，良好な景観形成に取り組んでいる農業農村整備事例など，あるいは進展する都市農業が求める農業農村整備に関わる課題・提案に関する報文などを，民間も含めて広く募集します。

国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿と 2016年7月からの新たな編集体制と編集事務局のスタートについて

国際水田・水環境工学会（International Society of Paddy and Water Environment Engineering：PAWEES）では，機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を発行しています。

本ジャーナルは，モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関わる研究論文，技術論文が多数掲載されていますので，研究者のみならず，各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。

水田農業における土地と水と環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としており，掲載論文の分野は，次のように幅広い内容となっています。

① 灌漑（水配分管理，水収支，灌漑施設，栽培管理）
② 排水（排水管理，排水施設）
③ 土壌保全（土壌改良，土壌物理）
④ 水資源保全（水源開発，水文）
⑤ 水田の多面的機能（洪水調節，地下水涵養など）
⑥ 生態系の保全（水生，陸生動植物の生態系）
⑦ 地域計画（農村計画，土地利用計画など）
⑧ バイオ環境システム（水田農業と水環境，土壌環境，気象環境）
⑨ 水田の多目的利用（田畑転換，施設園芸）
⑩ 農業政策（農村振興，条件不利地の支援策など）

また，世界14カ国からEditor（20名）を選出することにより，国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし，さらに国際的な流通を考慮して，国際出版社として著名なSpringer社からの刊行です。掲載論文は，Review，Article，Technical ReportおよびShort Communicationの4種類です。

一方，2016年7月から，新たな編集体制をスタートさせました。詳細は以下のとおりです。

編集体制

- **Editor-in-Chief：Dr. Takao MASUMOTO**（Japan）
  Institute for Rural Engineering，NARO（National Agricultural Research Organization），Tsukuba，Japan
- **Editors**　14カ国から20名
- **Advisory Editing Board**　29名
- **Chief Management Editor**
  Dr. Yu-Pin LIN
  Department of Bioenvironmental Systems Engineering，National Taiwan University，Rep. of China
- **Managing Editors**
  Dr.Jin-Yong CHOI
  Institute of Green-Bio Science and Techology，Seoul National University，Korea
  Dr.Chihhao FAN
  Department of Bioenvironmental Systems Engineering，National Taiwan University，Rep. of China
  Mr. Nobuyoshi FUJIWARA
  Rural Development Division，Japan International Research Center for Agricultural Science（JIRCAS），Japan
  Dr. Kimihito NAKAMURA
  Graduate School of Agriculture，Kyoto University，Japan
  Dr. Andrew WHITAKER
  Graduate School of Agriculture，Kyoto University，Japan

編集事務局（2016年7月から2018年6月まで）：

- **Dr. Yu-Pin LIN**
  Distinguished Professor，Ph.D.
  Department of Bioenvironmental Systems，Engineering，

National Taiwan University
No.1, Sec. 4, Roosevelt Road, Taipei 10617, Taiwan, Rep. of China
TEL：+ 886-2-3366-3467, + 886-2-2368-6980
FAX：+ 886-2-2368-6980
E-mail：yplin@ntu.edu.tw

投稿先：オンライン投稿（http://pawe.edmgr.com/）になります。

投稿資格：**筆者が農業農村工学会員で PWE 誌の購読者**であること。

投稿要領等：http://pawe.edmgr.com/に詳細を記載しています。

発行スケジュール：年 4 回（オンラインジャーナル）

購読料：正会員・名誉会員 12,343 円
学生会員（院生含む）8,743 円

非会員の方は購読できません。購読を希望される方は，まず農業農村工学会にご入会の上，お申し込み下さい。

なお，オンラインジャーナルへの完全移行に伴い，2016 年度からの購読はパスワードによる Web 上での閲覧になります。冊子体の配布はありません。

申込先：農業農村工学会事務局

第 67 回関東支部大会（講演会・講習会等）の開催について（第 2 報）

技術者継続教育機構認定プログラム申請中

1．主　催（公社）農業農村工学会関東支部
後　援　農林水産省関東農政局，長野県

2．支部大会（講演会・講習会・授賞式）

(1)　日時　平成 28 年 11 月 9 日（水）10：30～17：00
（受付 9：30～）

(2)　会場　JA 長野県ビル　アクティーホール
〒380-0826　長野県長野市大字南長野北石堂町 1177-3
TEL：026-236-3600
https://www.naganoken-jabill.co.jp/
・受　付　ホール入口（ロビー）
・講演会　ホール，会議室
・講習会　ホール
・授賞式　ホール

(3)　会場への案内
JR 長野駅から，徒歩 10 分。

3．情報交換会

(1)　日時　平成 28 年 11 月 9 日（水）18：00～20：00

(2)　会場　ホテルメトロポリタン長野
〒380-0824　長野県長野市南石堂町 1346
TEL：026-291-7000
http://www.metro-n.co.jp/

4．参加申込方法

(1)　申込方法
「第 67 回農業農村工学会関東支部大会申込書」に必要事項を記入し，所属機関ごとに取りまとめのうえ，E-mail または FAX，郵送にてお申し込み下さい。

(2)　申込期間　平成 28 年 7 月 6 日（水）～8 月 26 日（金）

(3)　参加費
参加費は長野県農政部農地整備課ホームページにて 7 月 6 日にお知らせいたします。
（http://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/kensei/soshiki/soshiki/kencho/nochi/index/nnkantotaikai.html）

(4)　昼食
講演発表をしない参加者で昼食を希望される方は，お弁当（1,000 円）を用意いたしますので，参加申込みと同時にお申込み下さい。昼食会場は会議室を予定しています。

(5)　参加費等の納入方法
参加申込みと同時に全額前納して下さい。なお，キャンセル，変更については，9 月 30 日以前の申出に限りまして，振込手数料等の実費を差引き返金いたします。
それ以降のキャンセルにつきましては応じかねますので，ご了承のほどよろしくお願いいたします。

【留意事項】
振込手数料は，各自にてご負担願います。

【振込先】
八十二銀行　県庁内支店
店番号：212　口座番号：普通 709097
口座名義：農業農村工学会関東支部大会事務局
（ノウギョウノウソンコウガッカイ　カントウシブタイカイジムキョク）

※振込元が申込書と照合できるように，氏名・所属の順で必ず記入願います。

(6)　申込先および問合せ先（事務局）
長野県農政部農地整備課指導担当　片桐，原田，知念
〒380-8570　長野県長野市大字南長野字幅下 692-2
TEL：026-235-7241　FAX：026-233-4069
E-mail：nnkantotaikai@pref.nagano.lg.jp

(7)　申込様式
申込様式は，7 月 6 日に長野県農政部農地整備課ホームページ上に掲載いたしますので，ファイルをダウンロードしてご利用下さい。
（http://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/kensei/soshiki/soshiki/kencho/nochi/index/nnkantotaikai/documents/youshiki1.xls）

5．講演発表者申込方法

(1) 申込方法

農業農村工学会ホームページの支部のページ（http://www.jsidre.or.jp/shibu/）の「支部講演会投稿票」の「支部講演会の投稿票について」に従って必要事項を記載し，**4**．(6) の事務局あてにメール送信して下さい。受領確認はメールで行いますので，葉書を同封する必要はありません。

(2) 申込期限　平成28年7月29日（金）

(3) 原稿締切　平成28年8月26日（金）

(4) 原稿ページ数　2ページまたは4ページ

(5) 申込先および問合せ先　**4**．(6) に同じ

(6) 講演時間　質疑応答を含め15分程度

(7) その他

幅広い分野からの応募を歓迎いたします。

講演概要（200字）は学会誌や学会ホームページなどで公表させていただきます。ご了解下さい。

講演会発表者の参加費・昼食については無料です。

昼食（お弁当）および情報交換会参加の有無につきましては，後日確認させていただきます。

6．その他

・宿泊の斡旋・手配は行いませんので，各自での対応をお願いします。

・詳細は，長野県農政部農地整備課ホームページに7月6日に掲載いたしますので，そちらをご確認下さい。
（http://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/kensei/soshiki/soshiki/kencho/nochi/index/nnkantotaikai.html）

第71回中国四国支部講演会ならびに第40回地方講習会の開催について（第3報）

技術者継続教育機構認定プログラム申請中

1．日　程

(1) 支部講演会

開催日：平成28年10月27日（木）10：00～17：00

会　場：松山市総合コミュニティセンター

〒790-0012　愛媛県松山市湊町7-5

TEL：089-921-8222　FAX：089-931-3304

プログラム

受付開始　9：30～

開会式　10：00～10：15

支部表彰式　10：15～10：25

特別講演　10：40～12：00

※演題等は調整中。決定次第，中国四国支部ホームページでお知らせします。

＜昼食12：00～13：00＞

一般公演　13：00～17：00

第1会場　3階　大会議室

第2会場　2階　第1会議室＋第2会議室

第3会場　2階　第4会議室＋第5会議室

(2) 情報交換会

開催日：平成28年10月27日（木）18：00～20：00

会　場：：東京第一ホテル松山（予定）

(3) 地方講習会

開催日：平成28年10月28日（金）9：00～12：00

会　場：松山市総合コミュニティセンター

プログラム

受付開始　8：30～

講習会　9：00～11：40

閉会式　11：45～12：00

2．講演申込み

(1) 講演原稿

講演原稿は，図，表，写真などを含めて1課題3ページ以内とします。

投稿者は，農業農村工学会ホームページの支部のページ（http://www.jsidre.or.jp/shibu/）に掲載してある講演原稿の書き方に従って原稿を作成し，原稿をPDFにしたファイルと投稿票をメールにより下記（7）までお送り下さい。投稿票ファイルは前記支部のページからダウンロードして下さい。その際，メールの件名は「中国四国支部講演会投稿」として下さい。受領確認はメールで返信を行います。なお，発表時間や発表方法などについての連絡をとる場合がありますので，講演者（○印）の方は必ず連絡先メールアドレスをお書き下さい。

(2) 講演資格

発表者のうち，少なくとも1名は学会員であることが必要です。

(3) 講演方法

個人発表とし，講演補助としてプロジェクター，パソコン，パワーポイントを準備します。

(4) 講演時間

1課題につき15分程度です。

(5) 講演要旨集

申込みがあったすべての原稿を講演要旨集に収録します。なお，印刷はモノクロとなります。

(6) 原稿の締切

平成28年9月9日（金）必着でお願いします。

(7) 講演会発表原稿提出窓口・問合せ先

愛媛大学大学院農学研究科地域環境工学コース

治多伸介

〒790-8566　松山市樽味3-5-7

TEL & FAX：089-946-9963

E-mail：haruta@agr.ehime-u.ac.jp

3．参加申込み方法

(1) 参加申込書

参加申込みについては，以下の申込み様式に従い，所属機関ごとにまとめてメールにより下記（2）までお送り下さい。その際，メールの件名は「中国四国支部講演会申込み」として下さい。なお，様式は，学会ホームページの支部のページ（http://www.jsidre.or.jp/shibu/）からダウンロードできます。

(2) 講演会・情報交換会・講習会申込み窓口・問合せ先

愛媛県農林水産部農業振興局農地整備課
大竹・犬伏・日野
〒790-8570　松山市一番町 4-4-2
TEL：089-912-2540　FAX：089-912-2534
E-mail：nouchiseibi@pref.ehime.jp

※参加窓口と原稿提出窓口を別にしていますので，ご注意下さい。

(3) 申込み締切日　平成 28 年 9 月 9 日（金）

(4) 参加費等

1) 講演会参加費【一般：2,000 円，学生：1,000 円】
※講演者を始め，講演会に参加される方はお支払い下さい。
2) 昼　食　代【一般：1,000 円，学生：1,000 円】
3) 情報交換会【一般：5,000 円，学生：5,000 円】
4) 地方講習会【一般：2,000 円，学生：1,000 円】

(5) 参加費等の納入方法

原則として，参加申込みに併せて次の銀行口座に全額前納でお振込みをお願いします。振込手数料については，振込人負担でお願いします。

【申込様式】

第 71 回中国四国支部講演会ならびに第 40 回地方講習会申込書

所属機関名：
所在地：（〒　　－　　）
連絡者名（ふりがな）：
電話番号：
FAX 番号：
E-mail アドレス：

所属	氏名	ふりがな	講演希望	【10 月 27 日】			【28 日】		備考
				講演会参加費 一般：2,000 円 学生：1,000 円	昼食 一般：1,000 円 学生：1,000 円	情報交換会 一般：5,000 円 学生：5,000 円	地方講習会 一般：2,000 円 学生：1,000 円	合計（円）	
合計									

また，振込み元がわかるように，所属・氏名等は必ずご記入下さい。

なお，振込み後の参加費等の返金については，原則応じられませんのでご注意下さい。

【振込口座】

○銀行名：伊予銀行　愛媛県庁支店
○店番号：108
○口座番号：（普通）1744151
○名義人：農業農村工学会中国四国支部愛媛県実行委員会　事務局　会計　犬伏直也
（イヌブシナオヤ）

(6) 宿泊案内

宿泊の斡旋・手配等は行いませんので，各自でのご対応をお願いいたします。

平成 28 年度九州沖縄支部大会（第 97 回講演会・講習会・シンポジウム・現地見学会）の開催について（第 2 報）

技術者継続教育機構認定プログラム申請中

1．日　時

平成 28 年 10 月 20 日（木）
9：30～17：00　開会式・支部賞授賞式・シンポジウム・講演会
17：15～19：15　情報交換会
平成 28 年 10 月 21 日（金）
9：30～11：30　講演会・講習会
12：30～17：30　現地見学会（大隅曽於地域コース）

2．会　場（開会式・支部賞授賞式・講演会・講習会・シンポジウム・情報交換会）

ジェイドガーデンパレス
〒890-0055　鹿児島市上荒田町 19-1
TEL：099-257-1211　FAX：099-257-1218
http://www.jadegarden.jp/
（JR：鹿児島中央駅より徒歩 15 分，市電：中洲通電停より徒歩 3 分）

3．プログラム

(1) 10 月 20 日（木）開会式・支部賞授賞式・シンポジウム・講演会・情報交換会

① 9：00～　受付
② 9：30～10：00　開会式（4 階 飛翔）
③ 10：00～10：20　支部賞授賞式（4 階 飛翔）
④ 10：30～12：00　シンポジウム（4 階 飛翔）
テーマ：「熊本地震と農地災害」（予定）
⑤ 13：00～17：00　講演会【オーラルセッション】
第 1 会場（4 階 飛翔）
第 2 会場（4 階 飛天）
第 3 会場（2 階 大ホール）

⑥13：00～14：00　講演会【ポスターセッション】
（4階 ロビー）

⑦17：15～19：15　情報交換会（4階 孔雀）
情報交換会の中で，ポスター賞授賞式および交流会を行います。

(2)　10月21日（金）講演会・講習会・現地見学会

①　9：00～　受付

②　9：30～11：30　講演会【オーラルセッション】
（4階 飛天）

③　9：30～11：30　講習会（4階 飛翔）
テーマ：「土地改良長期計画」および「農業水利施設の機能保全の手引き」

④12：30～17：30　現地見学会（大隅曽於地域コース）
集合時間：12：30
集合場所：ジェイドガーデンパレス正面玄関前
予定コース：ジェイドガーデンパレス→谷川内ダム（国営曽於北部地区）→畑地帯総合整備事業　第二曽於北部1期地区→鹿児島中央駅（解散）

※途中，休憩あり。現場状況等により見学地が変わることがあります。

4．参加費

	講演会	講習会	現地見学会	昼食（20日）	昼食（21日）	情報交換会
一般料金	6,000円	3,000円	3,000円	1,000円	1,000円	3,000円
学生料金	3,000円	2,000円	2,000円	1,000円	1,000円	2,000円

※1　シンポジウムの参加費は無料です。

※2　参加費内訳
講演会：講演集代6,000円（学生3,000円）
講習会：テキスト代3,000円（学生2,000円）
現地見学会：資料代一律1,000円，バス代経費2,000円（学生1,000円）

5．講演会（オーラル・ポスター）の発表申込み・発表方法

平成28年度支部大会の運営および参加申込受付は，大会運営事務局（鹿児島県）が担当し，講演会の発表申込受付とプログラム編集は，九州沖縄支部事務局（佐賀大学）が担当します。

講演会の発表については，下記によりお申込み下さい。

なお，オーラルセッションとポスターセッションの投稿方法は下記のとおり統一されています。また，学生会員（学部生・研究生・大学院修士）はオーラルセッションではなく，ポスターセッションにお申込み下さい。

(1)　投稿方法
「講演要旨（PDF形式）」と「講演会投稿票（MS-Excel形式）」の各ファイルを電子メールに添付してご投稿下さい。電子メールの件名には「2016九州沖縄支部大会」と記載して下さい。

なお，講演要旨と講演会投稿票は，**8．**の支部ホームページからダウンロードしてご利用下さい。

(2)　講演要旨・講演会投稿票の書き方
8．の支部ホームページから，「講演会投稿票・講演要旨の書き方および電子投稿要領」をダウンロードし，ご参照下さい。

また，過去15年以内に価値ある業績等を通算3回以上口頭で発表した会員に授与する研鑽賞は自己申告制ですので，受賞対象者になると思われる方は講演会投稿票に必要事項を記入して申告して下さい。

(3)　投稿先（九州沖縄支部事務局）
E-mail：tomh@cc.saga-u.ac.jp
（佐賀大学農学部　原口）

(4)　投稿締切
平成28年8月24日（水）

(5)　オーラルセッションの発表方法
1課題当たりの発表時間は質問・交代時間を含めて12分程度です。発表用機材としてパソコン（OS：Windows，ソフト：MS-PowerPoint2013）とプロジェクターを大会運営事務局で用意します。OHP・スライド用機材は用意することができませんのでご了承下さい。

(6)　ポスターセッションの発表方法
原則として学生会員（学部生・研究生・大学院修士）を対象に募集します。ポスター賞を若干名に授与します。事前のポスター送付は不要です。

①　用紙および枚数
1課題当たりA0版（縦）1枚以内

②　ポスターの掲示
10月20日（木）正午までに，発表者の責任で掲示用パネルにポスターを掲示して下さい。掲示用パネルのサイズは（高さ）2.1m×（幅）1.8mとなる予定です。

6．支部大会参加申込方法

(1)　参加申込み
参加申込書により所属ごとに取りまとめ，下記**7．**の大会運営事務局（参加申込先）へ，FAXまたはメールによりお申し込み下さい。

なお，講演会での発表希望者も参加申込みが必要です。参加申込書（MS-Excel形式）の作成は，下記**8．**の支部ホームページからファイルをダウンロードしてご利用下さい。

(2)　申込期限
平成28年8月31日（水）　※当日受付可

※会場の都合により定員になり次第，締め切りますので，早めにお申し込み下さい。

(3)　参加費の納入
申込みを受け付けた後，9月末以降に確認書・請求書を送付いたしますので，内容を確認の上，同封の請求書記載の期限までにお振り込み下さい。

※振込後の参加費等の返還には応じられませんので，ご

注意下さい。

(4)　宿泊について

大会運営事務局では宿泊の斡旋・手配は行いませんので，ご了承下さい。

7．参加申込先（大会運営事務局）

農業農村工学会九州沖縄支部大会運営事務局

（事務局長：前田）

（鹿児島県農政部農地保全課技術管理係　担当：小野島）

〒890-8577　鹿児島市鴨池新町 10-1

TEL：099-286-3242　FAX：099-286-5603

E-mail：k-seibi@pref.kagoshima.lg.jp

8．支部ホームページ

農業農村工学会ホームページの支部のページ：

http://www.jsidre.or.jp/shibu/

農村計画研究部会第 38 回現地研修集会の開催について（第 2 報）

技術者継続教育機構認定プログラム申請中

1．主　催　農業農村工学会農村計画研究部会

協　賛　農村計画学会（予定）

後　援　東北農政局，岩手県，岩手県土地改良事業団体連合会（予定）

2．日　程　平成 28 年 8 月 29 日（月）

3．場　所　岩手県西磐井郡平泉町および一関市花泉町

4．テーマ　水田大規模経営と農村の未来

5．趣　旨

TPP 合意など厳しい環境下で将来にわたった水田農業の基盤を形成するために，農地中間管理事業の開始や（巨）大区画水田の整備が行われています。これら農地の規模拡大や集約化の進展は，出し手農家の農業との関わりを大きく変化させることにより，農村の社会構造や景観に大きな影響を及ぼすと考えられます。

そこで農村計画研究部会では，「水田大規模経営と農村の未来」をテーマとして，岩手県南部の大規模水田経営体と，この水田経営体に関係する圃場整備事業を視察する現地研修集会を開催いたします。水田大規模経営体の実情と今後への期待などについて当事者から話を聞き，現地を目の当たりにし，学ぶことで，今後の農村地域の将来像とその実現への手掛かりを得ようとするものです。

皆様方の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

なお，本現地研修集会は，農業農村工学会全国大会中に開催される企画セッション「水田大規模経営と農村の未来」と連動した企画です。

6．行　程（案）

※視察先は確定済で，具体的な行程を検討中です。

10 時　JR 一ノ関駅集合

岩手県平泉町

・農事組合法人アグリ平泉

平成 18 年設立，経営面積 100 ha，

園芸品目導入，パン加工販売

・担い手育成基盤整備事業「一関第二地区」

（昼食）

岩手県一関市（旧花泉町）

・農事組合法人なつかわファーム

平成 26 年設立，経営面積 450 ha，

農地中間管理事業活用

・経営体育成基盤整備事業「夏川地区」

17 時　JR くりこま高原駅解散

7．参加費・参加申込み

(1)　参加費（昼食代を含む）

一般 6,000 円～7,000 円，学生 3,500 円～4,000 円

当日集合場所にて現金で集金（現金払いが不能な方は，申込書にその旨ご記載下さい。）

(2)　参加申込み

申込期限：平成 28 年 7 月 31 日（日）まで

申込方法：農村計画研究部会 Web ページ（http://www.jsidre.or.jp/keikaku/）で最新情報を確認の上，参加申込書ファイルをダウンロードし，申込先へ電子メールで送信

申込先：農村計画研究部会現地研修集会担当

石川県立大学　山下良平

E-mail：r-yama@ishikawa-pu.ac.jp

変更・取り消し：平成 28 年 8 月 22 日（月）までに申込先へ連絡

材料施工研究部会災害復旧事業の現場見学会の開催について

技術者継続教育機構認定プログラム申請中

材料施工研究部会では仙台大会の企画セッション「東日本大震災における農業水利施設の復旧の現状と材料施工分野の役割」の一環として，東北農政局および福島県が実施している災害復旧事業の現場見学会を以下のように企画しました。参加ご希望の方は，8 月 10 日までにメールにてお申し込み下さい。

1．日　時　平成 28 年 9 月 1 日（木）

午前 8 時（JR 長町駅東口）集合

2．見学先

大柿ダム（福島県双葉郡浪江町），小沢排水機場および被災農地（福島県南相馬市）などの復旧現場。

なお，見学先は，避難指示区域内にあることをご承知おき下さい。

3．行　程（予定）

マイクロバスにて8時JR長町駅出発→常磐自動車道経由→大柿ダムの復旧現場を見学（午前10時～11時）→移動→小沢排水機場および被災農地の復旧現場を見学（午前11時20分～12時）→常磐自動車道経由→午後2時JR仙台駅着，解散

4．参加費　無料，定員15名

5．参加申込み

参加ご希望の方は，メールにて氏名，勤務先，連絡先等を記入し，下記までお申し込み下さい。

申込締切：平成28年8月10日（水）

申込先：材料施工研究部会事務局

三重大学生物資源学研究科　石黒　覚

E-mail：ishiguro@bio.mie-u.ac.jp

近刊の設計基準等

平成27年度発行

土地改良事業設計指針　「ため池整備」

農林水産省農村振興局整備部監修

平成27年5月 制定　平成27年10月 発行

A4判 261ページ　定価2,500円（税込・送料学会負担）

内　容

第1章　一般事項　趣旨／適用範囲／重要度区分の定義／設計の基本事項／要改修の判定／設計の手順／耐震性能の設定と照査手順

第2章　調　査　ため池調査／材料調査

第3章　設　計　ため池改修設計の考え方／設計洪水流量／堤体の設計／洪水吐の設計／取水施設の設計／緊急放流施設の設計／レベル2地震動に対する耐震性能の照査／液状化の検討

第4章　施　工　施工計画／施工／施工管理

ため池整備用語集

計算例　貯留効果の計算例／ブランケット計算例／洪水吐の安定計算例／緊急放流施設の設計例

参考資料　堤体と地山高の関係について／表面遮水壁型工法／池内堆積泥土の固化処理／ラビリンス堰の水理設計手法／コスト縮減に向けた取組み及び新技術／環境との調和に配慮した施工事例／ため池防災データベースと防災面への応用／ため池盛土斜面の簡易な強度調査方法（原位置せん断試験）／柔構造底樋設計の留意点／耐震対策工

土地改良事業計画設計基準及び運用・解説　設計「水路トンネル」

農林水産省農村振興局整備部設計課監修

平成26年7月 一部改正　平成27年9月 発行

A4判 664ページ　定価 3,200円（税込・送料学会負担）

内　容

基準・基準の運用・基準及び運用の解説

1　基準の位置付け
2　トンネルの定義
3　設計の基本
4　関係法令の遵守
5　設計の手順
6　調　査
7　基本設計
8　細部設計
9　水理設計
10　無圧トンネルの構造設計
11　圧力トンネルの構造設計
12　トンネルの施工
13　管　理

技術書

第1章　総　論
第2章　調　査
第3章　基本設計
第4章　水理設計
第5章　無圧トンネルⅠ（矢板工法の場合）
第6章　無圧トンネルⅡ（吹付け・ロックボルト工法）
第7章　圧力トンネル
第8章　施　工
第9章　維持管理
第10章　保全管理
水路トンネル用語集